

旧東上鉄道入間川橋梁煉瓦橋台②

この橋台の主要資材である赤煉瓦は、わが国近代化の象徴といえます。わが国は開国以来、急速に近代化を推し進めてきました。近代日本を象徴する法務省をはじめ、数多くの建築物や、信越本線碓氷峠旧線にある、めがね橋の通称で有名な第三橋梁などに大量の煉瓦を使用しました。

これらの煉瓦を主に製造したのが、明治二十年（一九二二）、現在の深谷市に設立された日本煉瓦製造株式会社です。ここで製造された煉瓦は、市内においても建築物や橋梁、用・排水路の樋門などの建築土木資材として普及しました。この橋台も、同社で製造された煉瓦が使われている建築物の一つです。

その理由は、煉瓦に刻まれた刻印の存在です。橋台に使用された煉瓦には、「上敷免製」と書かれた刻印を認認することができます。「上敷免」というのは、日本煉瓦製造株式会社が立地していた、当時の字名を表し、明治期に製造された煉瓦に刻印されていました。



【上敷免製】の刻印が見えます

この刻印から、川越町・坂戸町間の敷設工事に伴い、この橋台の一部に、大量に発注された明治期製造煉瓦が使われていたことがわかります。

このように、建築土木資材である煉瓦の歴史もうかがい知ることが出来る側面を合わせ持つ、この橋台は、非常に興味深い近代土木遺産の一つといえるでしょう。

どんぐり

編集後記

先日、インフルエンザの予防接種を受けました。しかし、これで安心はできません。11月25日発行の広報川越でもお伝えしましたが、手洗い・うがいを念入りにし、インフルエンザにかからないように気を付けなければと思っています。年末最後の大事な仕事が残っていますから▶市民の皆さんのお宅では、年末の大掃除は終わりましたか。大掃除でいちばんたいへんなのが、台所の換気扇。小まめに掃除をすれば、さほどたいへんな作業ではないものの、掃除がしにくい場所にあるため、どうしても年末に回してしまいます。気合いを入れて掃除をし、家の中をきれいにして、新たな年を迎えたいものです▶1年間ご愛読いただき、ありがとうございました。来年も、皆さんが読みやすく、わかりやすい広報川越を目指していきたいと思

世界の国から、こんにちは！



息子の駿平君といっしょに



オーストラリア/ロサ・チェンさん

日本に来て8年、川越に住んで6年になります。ゴールドコーストの出身です。冬でも昼間は半袖で過ごせる暖かい所なので、日本の冬はとても寒いです。ゴールドコーストは新しいまちですが、川越は古いまちで、私の好きな伝統的な建物が多くあります。

ピアノと日本語の先生になりたくて、大学で勉強をしていました。今は、中学校と小学校でAETとして英語を教えています。子どもたちに、楽しく英語を教えていきたいと思っています。

*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは17ページ・21ページ、相談は26ページをご覧ください。

国際交流課国際交流担当・TEL内線2141